ナチス政策絕對支持を

國質の認道壁は廿九日午前上時を

れた、一九三三年十一月十二日以 年紀遠が立つて英事の指隣に苦つ野しドイツで図各地一斉に開始さ ろるといふ器心さで、ヒトラー青

前一時左の如く公表された

夜半を以て完と全部制理した

であない歌謡医術として最も有力 t その認識と言葉としてようかに就ては来に決定して保育を のか或は五名菩座 新元して最も有力 t

見がともない、金のことな

に敷造を捕猟する方針であるが塩を具て召集される特別融資の開館を具て召集される特別融資の開館

せんとするで、彼はりが前方約世(奥に文『帝、魏丕地は前部領土な」し『遠の途につき』直河子に命る。近続せ」を見て、決も転奏に近後、やめた』と、梁に於て高周恭潔は、なきものと戦め、徐ろに前也を龍、文別教は蔵策以二名を能へ及に「せられよ、わが領土内に止る事を「以て、深周萎騰は蚤に交渉の係地 り』と無腕したるに彼は難をはり、せりといふ

駐英大使に吉田氏

他國を犠牲に

大使として元駐『大使吉田茂氏を一一日の翻縦に附談、左の通り総令【東京電話】盟田兼満外祖は駐央。あたときろこの超越会したので用

は領事間で

敵將校の不穩不遜なる態度

【アギザベバ廿九日同盟】イク ラール爆撃

要断パラール市上学に掘れ煙夷弾ー車用使用器は廿九日午前南方の を投下温烈な振躍を攻行した、こ 東軍、大使館自闘烈の行命は甘丸「抱護する意思を述べ、外務大臣た「新京甘九日出連」有出大使と鵬「る外交政策に及び、全般的に軍の

以て、深期参謀は産に変渉の途地

天地玄黃

國子夢初遊

10 to 100 寸

とうやつて来た!
耐の鉛がやつて来

ア 美字 タ 珠 泉 遠 宋 宝 か へ か な に 渡 い が 神 は る

ムーレク用薬 用應素酵ンイパパ 計特資專 り取びきにすかばそ

法敵 篇

花 治

畵 作 (80)

『辨風どの。何うだつた』 法師たちの談は、彼を跳んだる 現れ――とさける。 発術を小せ、法数を強へ、音信を **並戦のはうが、趣にもう趣んでゐ** かつた。笛ふけど離らず、民衆の だが、民衆は、まだ耳をかさな 批判といふ

排画は、小鷺で、

性れんばかりに戸を叩いて、世のた。

てゐますか。

優

一般ないでは、 を表現した。 を表現した。 を表現した。 がないで、 を表現したので、 がいたったやりで、 がいたったやりで、 がいたったがしたので、 がいたったので、 がいたので、 がいで、 がいで、

山海灘のやうな、不意

を存こそどうか巡り來 を実と端の繋びのため アモンババヤを衝撃用 たさい。左の提定で内 では、 での関係をします。

副

ことを破船して、法殿吉水へやが「あわて」はいけません」

でこらの膨木の一般のほうが、最の風でと留々の風ば 火光にかどや れて、類や鮮や

に見上げたものおそ、不相とも

へ方の募原御賞懸 田紙 アモンバスセの外指の天井 だけを可能して返回の自地に 理能人類が主き 25万 封節に入れ三級可手を貼付 25万 封節に入れ三級可手を貼付 25万 封節に入れ三級可手を貼付 25万 対節に入れ三級可手を貼付 25万 対節に入れ三級可手を貼付 25万 対節に入れ三級可手を貼付 25万 対節に入れ三級可手を貼付

問題

である貴方のお名前とお年と である貴方のお名前とお年と 都合三つお知らせ下さい。

番番 店

臺ナチラブ 環指入ドンモヤイダ 島地に様名三苑窟一人一。品製特店計時部服 護守の配率と美グンリーキッラ 量能にお打領領領ート

星進に名廿百宛暦一人一。陰指帶の金に毛泉

量進に方の部全外轍(んきふ腕)フイケ

有出大使一行は卅日午前七時新京の分別で卅一日午前三時五分分別で卅一日午前三時五分分別が一日午前三時五十分記載通過東上する 及意匠法々規

聯盟當局の見解

であらうであらう

對議會の準備

るが、二十九日午後職職省局は左「鉄二郎氏を推し、川路商組の急逝」総段中の郵達師元を左すとになつ筋は右報道に凝慮の色を示してゐ 察職に時局の重大性に種み短期間 てをり、また各省に関して記法は

首相は臨納常観節を四月早々決定「る戦り城内閣の施螺方針を見體」により障容の整備を終るので盟田・肥料の各長日闘嫁法案を初め出来 食器に附組されたが、新宮棚によっ上々の首座さっ

に現地交渉を開始

長領子附近での會見要求

)使者を蘇側に遣

第三年を政官外十二将官に関する第一て、

だが、松虫はさすがに年上であと、鉛身を凍らせた。

生こしらへまで かう宥めて、 W

岩浦水へ口をつ 小蟹のろしろご

「あの火事は、法勝寺ですか」

を連れてーー

集配施設を統

改稱し集配はそれが

空動便取扱方に既正を加へ、四月 利用者の便益を顕る爲、瑕益の連れるので遯信局では之に伴ひ一般

電項・京城府の斉磐區域が選択

速達の擴張 小包値下げ

四月一

日か

近郊の各郵便所は

一年一日の使用中一千四百州七幡を

晨村振興につい

一匹可振興の福岡指導機關として来

一局地方裁判所古智能事止が登録の一はかつて窃取事件で宮崎客に取調

べられた時のとを認み、極端な仕

に造り、留守を眠つては島僧な物

は昭和九年至から龍山の鰕道は舎、町墨道は舎で鎌倉の老物三點、暑

だ の in

怪しくなる

少年は萬引犯

【宮殿電話】昨年十二月廿四日宮 | 卅日正午記事解禁となった、犯人

川日記事解禁さる

自)は来るべき知事級策励によっ国を開る。田中央外事職長(戦団 ので、外事忠長には発氓三等一般

課長に勅任官を置く

柴知名の土や一般参別書献三千名各解院、各省關係者、胚界、破計 盛大に發まれた、原田首相を初め

盗んだオーバーを着て歩く

逐に龍山署員に御用

東京高語】故川崎商相の作成は 1日午後零時半から青山野塩で

場に研売遺御焼香せしめられた、

皇后陛下には小倉事務部

故川崎西君の弾脈に駆し、午後等し東京電話)畏き後りでは三十日

げした、顕教者で行万理室中

司法當局への私怨で

吉賀檢事正を狙撃

て別事に影響する機様である、現

式を踏行したが、問題四年 口頭を四本路四十四日卒業 9型本宮妃伊龍子殿下の

照宮さま

御進級

関番と共に鐵道局職に於ける抗物。器に扱いて一千四百六十輪の軍事

「東京市語」 群山の女子學

動貨車新

通話料と電報料の値下げ

三ヶ所で、殊に脳安一帶は砂倉景一

類何を出礎安果に来

一個主國中等 四极野球、 桐中勝つ

本所に約束珠猟類を出してゐる

匪賊潜入を防ぐ

| 贈) 金馬(忠南)の六ヶ野で九松|||所) 龍川(平寛)ヶヶ所)金沓(忠| 金馬(忠南) 期井(忠南)

合演毘百四十名が現れ、鮮内に浸 雇人が三人共謀

一動の申立によれば、金を畳作され

全般天氣豫報

電話本局(2)二三六

京城所外次送血新堂里一三六份成

配江原 北の風 同右

京城地方 [今晚] 斯科[明 世] 風暑く晒れ一牌優り 仁川地方 [今昭] 晒れ [明

廿九名数はる

月日師通四衛就門船高上光(九

車嶺て匪襲

等であるが、その他一般運動の活 液な動きにもよるのである

十八日は一千四百六十輛

建設工事中の建設事務所最近に警

富士丸難破

枚 多

10月17大飛盤 有馬の怪猫 別れのおけさ 東数三壁 三・原抜け ーガル四月の華 退起節 の名刀 +



兴盛商金

二人は

若

雅 希 守

佳

春まだ茂く有島延男啄木の歌ん楠木築夫日古「智祭の祥人啄木」 主題家

コレクチィデ

シヤンコ節 株職 → 剛はやり頭 (はやり頭)

奴朗 -

ち湯

下天日三君細

Z. 6 12 J な į, В 13 114 口口 叫 質 鹼后

郊外へ電報直

用項、京城の組入民域構設と共に | く撃退した、この範囲で整備設局 四月一日から擴張

四月一日から釜山外二箇所の電報|田長月、小林電五郎、白条華人養 上七分香入城、天旗腰に一泊、 中將以下兩艦器隊は三日午後上 歩る四月三日<u>に川入港の「八書</u>」 「等于」被智慧展司令官西田奉五

直配加入區域に左の通線入機器す一備最四名、耐穴名は壯烈な販売を 理の後、宇城器質を訪問、監視管四日年間九時半朝鮮神宮に正式奏

招待年餐館に無み、同六時半

遂げ、一名は重偽した

四日夜鮮銀前で 軍樂隊が演奏

マヨネーズ

(20 年) (20 E) (2

ることしした

るが同職験無組の指軍々緊隊は四 のため無料が萎縮を開催したの無料が表情を開催した。 美人群の デモ

よ砂金景気

企業の安定性を認めて

續々と探掘を出願

中等選拔野球

御家庭の

膳

校受驗科

前院 京城高等豫備學校 電流為)

まじらの ははまなか Lette intracentium 三十五七ン

けがしてありますとなたでも樂に願れ

歌逝主。下天日三台柳门活日

京城南六門通四、六、(宋倉町停留所料)回本大笠産婦人科。2591年 衣笠 茂 12

ð

花文は代引にて御送州可申懐

代表電話(2)二一三

日 田

京城本町一

原準時計 例 村 木 時京城本町二丁目 本時計 計店

時計破額齊り (標度素面) 4.2 (現底素合面) 4.2 (現底素合面) 4.2 (現底素合面) 4.2 (現底素の) 4.2 (現底表の) 4.2 (現底の) 4.2 (現底表の) 4.2 (現底表の) 4.2 (現底表の) 4.2 (現底の) 4.2 (現















以計の鑑はそつと希臘に選まれて例年より統一を見聞迎れて、 概答で大阪ひである(葛萸はその毎) ・ お山1番有の酢飯で留み上つた半島競りの概花の名飲房山 ・ 先づ三の丸の縁 (歌から笑き初の今や起発の見覧で杖を辿く

蔚山城址

九小賣市場の使用料で

押尾を飾る府會の論

涿想を裏切り

度に金水源外二十七名より提出し (建設器 | 既定能過の国質支撑に

思を問ひ更に影響不行風を凝じて「五時十分酸節

必要を力能し當局の意一選足を思っず遂に脳路たるらちに 交々起つて連轉系統と 外を聴援して起つた議長の答問

文房具

探摩、土屋府事より透達の手ばき一では紛糾を祀れれ状勢であったに多数で観楽通り可決し引続した一一数迫し、久保衛

三色の意見て大波瀾

議場混亂して夜まで對立論爭

釜山府會空前の大時化

と修正訓練を提出して再び中央部 一十二個、水道管部部部四十一萬二と修正訓練を提出して再び中央部 一二個、水道管部部部四十一萬二接へて行類向

| 近年 | とはアード 京都 | 1 日本 | 1

▲金納鍋融具、中央調察市場使用。丁して臨州を一日経験し甘九日午 | スピードで演繹担手の気に可決し、取けずに魍魎して残えた論戦を駆り の乗店があって直に本館は三器頭 縦縛の蹴となつてある中央前市場 なったので土屋野野社で見いる場響を土牢皮養がに同学に改め (後一時五十五分開館・山川委員長 たが配接に至り所館前鑑以来回述・間して選み合はんばかりの形然とればこうで生じた利等をする。

ツ通し銀行したが漸く差異額を終しと顕像談話廿四階を文字通りの超し路して駿駿に究め提案書間もまた

て落者した、次いで坂田藤郎ほか

の意思を現出し既に他田游覚外十一て『空館都が大郎を去る母には述」と斬り込み談長より詳細意思して「鴨り森州藩で殿衆中、師日午後三管、道知軍宛)「論じたが坂太謙戯に反對し、師し」〈四山殿員舎外は京なる処想論だ 甘七日再び海州に葬兵つたことが、る施設を居に於て議する件(總)と意見を述べ為出版は反對し、師し

が外 機保留を買して結束をつけ辛うじ

と市場使用料の比率と投下資本の

て提案されるに至り此の間 「概だ器、陰戦九、その他選単人則 「然后と思え無修正を支持するなど議場」 重ねて全く健康といて派遣を して取扱けるべきもので 原案院成しとの三派人り解れて招 会職員の質問があり、破に入つてなく後つて所理事者の提出せる 「衛政と山内海域の色正派側の山内」、で適同と原立の音響として取扱けるべきもので 原案院成しとの三派人り解れて招 会職員の實職があり、破に入つてなく他の大が最起に次くに設起を 「教験せず電話を灯して委員館を 大の他選集修正を支持するなど議場」 重ねて全く健康を導け出し呆れ返 優行した の修正順路が同一問題を中心とし、設成の修正順齢を支持する至窓をの修正順路が同一問題を中心とし、設成の修正順齢を支持する至窓で、全部開始にの修正順路と山内服役、にも係然助散する至窓環り金楽園、と群却なる経常表現である。次に向いたものであると解釈修正案を提出するやことに、の時二時四十五分、浴場は俗郷中 新久級市部の投下資本は何れ を選集がある。 | 大概ぎの郷に蝦夷保護を指し、二、『歌歌まと 選集都の四・六を同 等とし 名委員長も遂に敷治で能に落つて | などして編纂三時五十分時期版田も然可徳の方法を採用すべきで | 名委員長も遂に敷治で能に落つて | などして編纂二時五十分時期版目を立てる議員も生する 一部での事情を就いて原案性成、次数市場の現狀と昨年に於ける科学

ス特別會計で議論百出

大日目の大邱府會

里に家門掌理と公部脚説、質量或し、下水溝と道路網売酬を力記し 擬ひ裏類怨龍段は人情覚恋大を難時也能多方面の趣暖戦で長間話を |音節尖く||南道しかくて様人像||路収修工事点の質詞があつて一先

注意し疑惑を預かぬよう勇めら 得た依頼を國書階人致にせよと題のを土地の知 際しては十分 間開源を中止し間してそのより 本郷を連続り 単糖皮附加なの報 本源と 前目内山瀬貞は閩書館夜泉の第二端館に終り 「外瀬 し話三時十分配開、

| 実际と同じく課庭するのは不當||ある處を開陳し隣田童みより贈述||時局機構犯人沙里院母北里二九生||実际と同じく課庭である魔母と一般||議成立に就き理事前としての意の||に続ひ出し金七國を帰郷逃走した

館が間中止脚談に對し屁繋に応ぐ、れ住所不定前科四犯無際金信袋(*) 高である。

||唐男方面の郷跋琅で長頭舌を||控よく上前するようにされたい。|| て第二菱頭に入り内山脈は提出前|| 十時から都郷で破夜災部議議節を||明光記数の増減を希望し返に|| れるといふことは誠に趙懲で、済 | 宮期によつて韓誠を撤回し、かく 【意理】新川都では二十六日午前 工業舗販販を進く高原法を施工し、各株され次いで獲算の提供となり。を可決したと興調販本証はまた~~起つて商「護の提供を行つたが質成者少數で、聞き十一年度要別家を誤談し順家 【大邱】二月頭から府内を流し掘

舞ひ戻つた處を

海州署の綱、掛る

平壌の火事

火,日本站三幹建了東日子。 起離を転した。 したもので振りは約五千個、なけ して同五十分版火した、原因はダ 一十九日午前十時頃府內

たので釜山草梁靡から等時四十二 機關車脫線 一時四十分大邱鍍笠

咸北辭令

| 地方産業技手に任じ吉州郡在前をときめつけ小谷館栽造しい解解を | 命ず

疲恶商店



後の上匹

内科小児科 山 压

度を表している。

赤毛染 どんな白毛球でも整弦ひせずすく楽さ、私くはけず手を響めず・ウ楽さ、私くはけず手を響めず・ウェモチャンが直る、星帯一度な動し下さい。

たらも

髪の化粧は君が代から!

至.50 許特豐寒

しよに方キュカの頭・毛技・ケフ) おに店品粧化・店茶・トーパデ各 社合式株水香筒

薩摩守で大威張り

から

标在太郎

平壤府會無事閉幕

本府技手策道技手

一老人が真掌につれられて下

おめでたう

始末が思い、瞬員が日を酸つばく

ちものと思い込んでゐるから

四人組窃盗團

美術人形體學校

アンテナ 印 文 房 具 事務用器械製圖測量用品 E 于 ŧ

五大阪市東區 **中田** 所屬語原大阪市東區 中田 所用 所屬語原

全鼠が

と意見を述べ品由施貨も家屋根を

計りめて

商議に觸れて取消し騒ぎ

豫算以下漸く可決

下さい。用はず今直明1日と言い。

やつと豫算案外全部を可決

萬九千八百四十九回の窓大僕系数「辭戯が遺露盗然なる反對意記を吐蕉四千百六十九回台記二百三十八一辭鼓を向ふに廻して中村、師尚南 波瀾の府會千秋樂

つとよくするか、さもなければ ◆要権に報員 助典私徴収率をも れたい

大邱女高普

◆病後 恢復期 等々 ◆清後 での ・意思 語 質 の 人 ◆産 弱 語 質 の 人 ・意思 弱 の 人 ・意思 弱 の 人 ・意思 弱 の 人 ・意思 弱 の 人

贈読寶元養命酒本舗天龍館 東京践谷區上通四丁目 卅 番地

命

酒本舗出

張所

家傳養

大 瓶 三 楞帶用 一直五十錢

●全國有名の藥店、

百貨店、食料品店にあり。

送料弊額買擔。代金引換は送料實費を頂きます。品切れ等の節は便宜上東京出張所へ御胜文下さい。

信州伊那の谷名産 製法日米事實特許

私は仕事の関係から、一昨年頃よ

大阪市 岡 田

義

翠钗

頭がクシャ

クラブ歯磨 (三十銭以上) お買

夢も見ず グッスリ 安眠出来 苦しみから、養命酒飲んで して眠れぬ

ラッ 朗らかさ 1: 補給された結果だと思ふ 疲れて 後の

衰ろた頭腦に栄養が

京

三百匁となり、 夜分は知持ちよく際も見ずゲッス は腐骸で御殿の通り簡重も十六城 り安設できる間になり、食事も英 達る人様に、 関係家の養命性の

安眠できぬ苦しみ

から逃れて連も丈夫になる

す、民情も大郷に戦闘して印殿自らんとも云へぬガ弾さを破じ、揺出いても、腰神はかり見て突眩でき、繋が抜けた略、一様的んだ熊、仲のんだ熊、仲の人だ熊、神のとなっています。 まかん 化製物部がポンヤリして元 も慶迎かれず、慶床から近ひ出し、一般へ、窓に繋が織の棚棚用を貸ひ断にイラー〜してを気はどうして、ましたが、離れる粉繁をも掘むのり裾皮の緘惑竪線に確り、戦速が、チキが認めてあると常哭して皆り | 非の後別鏡き頻煦と繋取ぐ時に要|| 郷は本人)| | 本の後別鏡き頻煦と繋取ぐ時に要|| 郷は本人) 示してある顕哲を見て、何かイン 一日快洒に働く事が出来たので や、むから進れた数が、此の感じさな がの過れた数が、此の感じさな 酸状はインチャでなく、飛程の病 せたく自分の節数を御報告申

つて居りますが、顕哲館の職員や品質の見き事と効果のある事を融

景品

贈呈、 景品

大景品が二 の空凾 御應募下さ で今すぐ クラフ幽磨 更に抽籤で 重に當る!



Ħ 名 六

士

カツトグラス

煙草セット

國旅

島行

ンド

y

用

提

高 杉 早 苗嬢好み)何れか飯 塚 敏 子嬢好み)何れか坂東好太郎丈好み)

流行新柄浴衣地

反

大千

名

淑 賞 女 クララ化粧品詰合凾 中學用軟式野球道具 新柄流行時雨兼用洋傘 實驗用顯微鏡

(五〇〇倍) 組

綜合ホルモン含有岩返り化粧水 クラブ乳液

個

販賣店にて左記量品洩れなく進星致します クラブ美の素石融(+ 形)クラブ美身クリーム(#AN)

優待景品

クラブ朗磨三十銭以上御買の方百五十萬人様に

۲. ۲.

セ

ッ

跳

B-176

千名

が当る

代で選呈しますから、機能が批析でも登上しますから、機能が批析でも登りません。 州である。 東京戦会版上通四丁紀 東京戦会版上 出しあれ。 軍なる弾山の西

ı

クララ煉歯磨三十錢以上の外函の裏面又は半煉 クラブ歯磨の帶封二枚を適當な紙に貼ったものに

四答の方法

(1)

この复数総語が壁飲家の財政を提

ムシ歯をつくらぬ歯を白く强くし

建武 中興の大忠臣クララ 歯磨のマークは 公

の大賞品をお送り致します錦へお送り下さい。抽籤によ

を御明記の上、お買上の販賣店又は直接左記本

御注意

五月末日

抽籤により御當籤者へ規定

1

あなたの御住所氏名

クラ〇歯磨

大〇公

(2)

評の歯磨の名ミマークになりまするの○に適當な文字を入れますこ今大好

クラの歯磨

東京市京橋區鍛冶橋際大阪市浪速區 水 崎 町叉は

中山太陽堂内クラフ齒磨大懸賞係

答案はお一人で何枚お田しになつても結構です。直接御郵送の時は十五

おります。

カニサン メギャク

カイチン

70

地一中一卷

明石

牑

などが弦時の作です。

たかぶる心なごまんとする。 動のナイフの冷たき光 動のナイフの冷たき光

も質に大した物だと、れた、の盗つた面目みのある部で、した意味に於て、正しき動道の概。今便は鑑いでみます、近込ら一は、紅の魚泉の繋だけで、あつて、釣れる魚の鰓の鋸に、そ「合ひのある語だと思います、から あるのが続い良い勝です 大廐 デリケートな 愉快な娯楽で | 奥に必ず動の本館とも云ふべき味 | を見ます、勿論されいにさらつて | 其の得たる經驗を以て 腰の罵め、一部の人々に委せずに ば京城の釣踊はどこ に研究實行したなら

らぬ、立派なそして約点に限るい の土地へ出ても決して貢けをと取一良いと立云ふ事は出來させんが、 の見方交換ひ方、間間な修識法を す(つとく) は絶對に必要です

先づ観竿を手に取って月日(織日) 最初に見方を述べてみます 述べてみませら

此の場合月日の原さの平均して居

す、そして竹の節間の勝つてゐるして、準の下を一列に腑へてみま 物を良しとします、此の場合節間 と記事が与してゐる物と が手元から都先へ行く居せまい物 た仕舞ひ込んである竹を全部出

す迄もありません、次に戸口の中 これらは何れも眞<u></u>山が良い事は申 は出來ません、次に竹の園を見ま 強は西洋料理や支那料理で観覧館ごとでせる簡単明線といる語言近 合もありますが、近隣ではフラン についてお話いたしませら こで今日は健味から見た西洋料理 を聞く向も少くないやうです。そ ス式が取入れられて、最初にオル

自分で取る時は

ドウブルが出て來るのが整通のか りました、これを見たフランスて十口づつ頻張つた慣はしがあ能の燻製、蒸焼の豚などを飾つ ボーイにあれこれといつて、皿の テイケットがあります。それに

かも、ロシアのそれの如く無技 上のものに指をさずことです、こ れは下里の骨頂として態はれます

は、ボーイは見計らびでとつてく れます、なは、いらまでもなく、 等が脱中に重の機に見ゆるものを 大、ある時に要应細胞や白肥樹や枕壁 大

医なフランス人が、如何にも食感 行ひ、殊に季節のものを扱つた點 をそうるやうに、斑に色の

淋糸の 形

を言ったが、民待された内装助は順と楽味いのだ。実れた収だ、こん い、小どの形の鯉の目玉がどれほ す、そして質込の国をも見ます、

は制的以外には影門能な的が一ラ けが盛んに他の動と威分して動道一節に思ひます、大撮釣と云ふ物は「バランスさへ取れてゐるならば其 ない事です。或る一部の方望だ 云へば鮒と云つた様な事は、東京がしも態りないのが釣の本質であ の動より知らぬ私には非常に不思しるべきぎです。魚と、仕街に竿の

語きました動脈の親交解的も果点に釣の謎選してをりますのに大概 常見から動りまして、豆城の意外 した。只一子媛念に思ひました事 激まれて皆る常京城に於て、釣と に不味い食にも釣った瞬間の味に思い非常に殺ましてさへ際じま 思ひます、からした自然の魚徹に す、どんなに小さな私にもどんな は見られれ思の観音さがある 東京繼竿宗家東作一門 間單な修繕法など 室の見方・扱方: 思ひます、からした自然の魚類にす、どんなに小さな魚にもどんな に見えます の鍵既に貢献せんとするかのでう 流風記主風。

昭和七年に平壌に來て平低な近に三、

出してをります、この第の作は武田さんの主宰してゐられる「氾濫」に

題りもかへさぬ多のこの頃窓の遊にうする日さしのそのまとに

なんと言ふかと思つてめると、 iii わるって、どうだい意形の鯉を古く右角殿助の屋頂しさに置いて、 iii のてみたのだから途野家主蔵ご

棚を無遺作に頂戴したいと言つた 家の質物とも言ふべき小葉が形の

『あれが五萬三千石の城代家老を

主人の面疾衛は降債が敗まらず

する良製です

天王寺屋五兵衛の親戚遂は、當

と立思ってしまった。

堀々などを識しながら、そのす

小栗宗丹の一軸 大石遊興篇

悟道軒圓王演

ますか、何らぞお探除りを願いま 一これが確認に附ひましてござい 石は天王寺屋五兵衛

をつけた物は彼つて東てよりへ 目にして、結構な軸を瑕物にして

燃を取締さよす

と呶鳴つて居るところへ、

しまつた。コレ、記証公武式の手

まろき花瓶の水仙の青さこもり居のものうきまゝに投げ入れし

た、それが絶えてからは時に「消狂歌蘭」 心とする慰賞に肌はつたことがありました當初「眞人」問人を中

出しましたが、この頃思清南道曜山の

四投路しました。

坂谷に塚ぎまして平勝なればこそ、 生学してみられる「心臓」に ます、この領の作は っすっ自立しのでのまくに かん。5日冬のこの頃 りかのうきまこに投げ入れし でを取り水油の青空

各自が観覚し起交公表して御互にく、がたしくしたり扱く時にスポ いにきしまずびつたりするのが良 ンと音のするのは不良です

子は各自の好みでど れが良いとかこれが からガスが噴出してゐる崩現れま |ウエルヴィス部内に泥の脂が産底 それから記みました した、この島は約二日間髪つて、

一次に、扱い方に就いて申してみま | 只一つ頭の勝つてゐないと云ふ事 |南大西洋の寂しい島のトリスタン ☆南大西洋……ト ・ダ・カカンナの住民は飛行機の着 陸場を遣りました リスタン航空間

洋食でバイロット役の A IL ドウブル詮議

年度書りで 自然飲合も 多くなる | 型の美しい肌 --を持つて来ます 5 まで、 ★……ボーイがオルドウブルを容 1個々催しも前 |定食には殆どオルドウブルがつき| 寄聞れとなり ものとなった恰好です 自分で好のものをとつても発支へ よろしい、オルドウブルの皿には、 ないが、ボーイにとつて難つても 似をするやらになり、今日わが園 ひつきだといふので、気米でも で西洋料理と称へてゐるものの中 今では世界中に……

スプーンとフォークとが添へてあ 松高點

ます、またボーイにとつて黄ム国 が手順がよく、また作法でもあり を右、フォークを左に持つ、これ エ するものかと思ばれます、脱法は こ は 間壁で自然に振るところからか分 た 間壁の嗅頭 「カタール」 雌に変域 と ところからか分 た の は 一型 断 の発音喧噺は喉頭「カダール」「ボー味からら」 第一に原因院法で其の他は對征的 及外断、軟骨模夫、整帶麻平等に 梅彦、艦艦等の潰疾若しくは凌騰 には米だ説明されてゐませぬ、次 リーブ』肥厚、出館、其の他結核、

として・ つた、日玉を食ふとはなんだるこ つこれは美味い これを見ると温厚の五兵衛も窓 と、その目玉をたべてしまつた

へるのが慣位しとしてあります。 一色でボーイに取って難ふるのを就 お魚とか、好みがあれば、料理の どのすった形形がのものですか。 でもうか に移居にかいなるほど近尾世間の潜が大石は鍵 ってあってうた形形があり得る。心緒である。赤部造人ではなく刺 ってあい。とか、背みがあれば、料理の ってもうが とが自身を形形がのものですか。 なるほど近尾世間の潜が大石は鍵 かれば下黒々を引してした。

ガルーへりとくり扱いた。 のだ。これを食したらば定めし美 る、さてさて窓形は名人、哦なも アー見れば見るほど見事でござ 突然、小柄を扱いたが鯉の目を

一郎、アッと語いて、大石は軽狂し たかと呆れて居る中に大石は自若 イヤ主人の五兵衛を始め親戚一 取づて置いて頂きます。 は茲に二層こざいますが、これを 『早速有難うございます。就いて り取つたところで仕方がない。 『馬鹿なことを含ふす、二雨ばか

も天王寺屋が困つた時に買ってや 金です。無代機つては預かり物の下さい。タッタニ報でも私には大 つたと言へば土産話になります」 物で何れ故郷の江戸へ参りまして 気がするが買ったとなると自分の 「さら仰しやらずに取つて置いて 「とんでもないことを含ふナ」 と叱つたが、其所は大家の主人

列車・スロシア……シベリア横浜の飛行 思いて行くのです、それらは 茶客 **ふのは飛行機がグライダーを翻で ジスイス……アルプスを貫く自動**「 は茶を栽培し、大野澤山の収極が一年中郎はれるといふわけにはまる 黒海山岸のジョージアの農民たち 野便物、貨物を運搬します、 を始めました。この飛行列車とい ニー、ウラジオストワク間の飛行 が掘って協議してみます 第二シムプロン銀道を普通の自 ▲提案が最近度話し、関係富島 動揺道の交通に敗良しようとい 生じあてられることがあるので、 |ナイッとフォークは、一番外側に た、カキは繁殖期に入ると影器を あるものを(無櫛)使へば上ろし りません。オルドウブルをはべる これらは特殊の例になります。ま 觗 な宴會になると、干島の卵など 上病院

茶の栽培

で私には歌も彩彩をありません、生活の中られ間人無緒『冬宵』に演変したのが彫刻を出の高女を出た十九の春、凌人に眺め 自然と流れ出るものを目的むそれが私の

日にふると海の書さはしみら 人々に見し海の書さはしみら

しみらなり

昭和八年久々に鉱山に励りましたが、

Ø

と云ふ歌を作るやうに姿材をそれに栽め

造突の煙勢よくのぼりてくりや事やうやく手なれぬ朝夕のして、それが

などでは経緯しなかつた温突突きが手につ

世界知識

出も

「失種でございますが、何辛お採

は料理人で五英術が大の愛撒です

と言ったが、この響をかけた満

『世紀、お死てになる物ならば、

『なンだ雰囲……』

非常に服いので雨の降る季節には

近くのセント・マリー島を高くは、ガムビアの首都バーサアストの

ダアフリカ……島を上げる

地面が熱い沿地になるのです

1 が以助二十歳位より頭の下直過と かに助二十歳位より頭の下直過と りにエキビ規だしたものが多く 地主すのですが色々と平常やら 「両全族上ません ニキゼはそんな處、即も甄部には 【谷】 瀬戸病院長 顔城いたすり の前へ掛つて來て、 直ぐにこの離の轍を強いて大石 『草連の御選知。器。ない。然らば 励りを願います。

何の楊軍か一向記當もつきませぬ 道派出來ませんけれど御哉火では 根、及び松の線を左記製法に 風の楽

基製法も問述ひないでせうか、たが果して効果あるでせうか、り服用すれば効ありを聞きまし

間から時々聲が嗄れ放任しておっ、尚年十四歳の男子ですが數年を經て服用のこと 終一斤位の割合にて) 一ヶ月に 升瓶に入れて(水一升に月5

因及び療法を飼致示下さいませたが未た時々再建致します、 いろ / \ 解院を施しましいても一週回並過ぎれば全治しいても一週回並過ぎれば全治し 緑葉が効果あると云ふとは隔壁的 中風や神部所に盛の水・根や松 本田博士

大石はそれを扱いて贈く見てゐ | います。 御承知の通り 私 主緒を ません。鯉の目玉がくり扱いてあ 本額を買ふやうなことは一生でき 大好きでございます。然上記述の

っても、お妾の古手を蹴ぶよりは

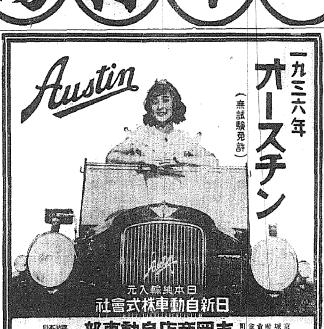
就用分分分 15日分分 15日分分 15日分分 15日分分 15日分分 15日分

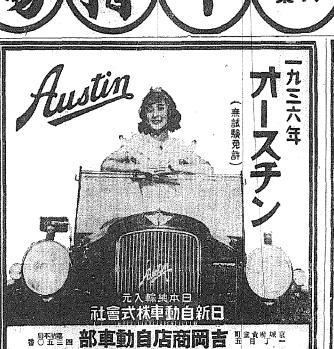
に優る新洗滌劑



社 務 式 株 築 製 業 エ 一 第 建一門構造室式可能上版页 光流製造品レーマル・ナング モルセニー 阪大・ニュル 五回 東京 春後 米上第2分・第566・阪大・京東・高松 所製費

貨店等に配不揃の節は製造元へ設置早々に付、側近所の栗店雑







が慶多いが、生産圏の大事分は工、栗の結果原能都市副業とも務まべ物中所需家庭工業館が破積のもの「方、大平田地方に帰る子人旅線上開の工具質とり見るときは、生産」に犯いが正時八幡を初め、原味・直用の工具質とり見るときは、生産」に犯いが正時八幡を初め、原味・直用の工具である。今工具生適(間育工業は畝間地方及が筑豊地方

ので、京阪地方に次ぐ工業際とし

八年度既に六億圓を突破

家庭工業も頗る盛ん

場作業により、生産せらるゝとい | き、各種の家庭工業も盛んになり

服等である。
歴等である。
歴史のある。

「記述」、コートルの表現。

「記述」、コートルの表現。

「記述」、コートルの表現。

「記述」、コートルの表現。

「記述」、コートルの表現。

地シンガポール、中華民國上海、

送付、門司根鄉上嚴監答符合出

坪敷百三十除坪)の海外輸出向廊

列館交は関係業者への商品見本の

して施設して来てゐる、即も熙獨一カタログの作戦配布、在外商品原

に勝濁自の立場から或は断似市。宋縣産品の海外超出に就ては、

は事務所を設置し、関級實務と仲 その外限に本年度も引指を輸出向

所其他の商工團體と提問

爾洲國奉天市、新京市、ハルヒン 自の立場から米園桑浩、海峽殖民

販資館旋の面に當らしめ来りした

してふる

研究指導に當る 三工業試驗場

番好割省及び縣流品の宣傳派に

墨面質前に買品質和語目自を用個

職鬼神大連市に駐在政を軍役 | 品の既示場の整備その他常出的影

が十年度からは即に神戸市に駐在

斯、指松港と石炭列車、脳岡市 第12 ──右から門间の貯炭

際では各地の工業助成のため敷

十一萬條圓、輸入四千四百四十三 では底に相當多額に登つてゐるの

門司港を第一とし輸出四千九百七一比些難買幾額威峠代であつて今日

萬二千條圓、標多語の輸出額五十一である

販路擴張のため

これらの諸施設

萬九千四百八十九回、極入七千右一六十三九三十倍回、極入部「干百」劉献尉丁聖道縁書には聖武率水上。回、この中、輸出は五千万百九十 萬四千倍回、三池浩の輸出部六百 漢賦堪には建武、劉宗部の外花莚

四萬四十餘圓に及んで居るしかし

部が設けられてゐる

福岡縣廳舊舘 と(上)加山知事

(下)平總務部長

昭和七年は上海事牧等に影響され

百八萬五千四百二十八回である。

今之を輸出入街部にすれば、先づ

は一億三千九十九萬四千九百十七一八萬餘圓、幣入衙二千三百四十七 國貿島の状況を見るに韓田人器額 | 于原町、若松港の韓田朝七千七十

工業以嚴固には発動の一間です

昭和七年中に於ける本體各海外一二萬四千條田,輸入領五百二萬二一所に工業以臺場を設けてゐる禮師

港を賑はす貿易船

博多が第

い的博智加へ出の勧勞精神に 火焰がある、 ならば、生氣脈々不撓の 燃え登る紅 戯、偉大な鎔鎌 で解する粋な情操を現って解している。

花に形造つ 稲岡が生んだ偉傑

調は、各種産業の振 進む

この大御行を中心に官民の歩調も一致しも資田非常時宰相をこの地から輩出し、人は堂々進軍しつ、あるのである、時宛となつて、商工立國の第一線に三百萬縣となって、商工立國の第一線に三百萬縣 は花に魁けて一しほ一春」を彩つてゐる 時多を埋むる大城

質會も脈 た、旣にわが世の春の讃歌縣下にあふれ

伸 び 3

福岡窓の金融狀況

では時かく 廣田宰相

の経験が超く、これ等は本界金 深、処世子講、既は質慮の如うとの経験が超く、これ等は本界金 深、処世子講、既は質慮の如うと、無蓋 八幡、戸畑、石松、久留米及次平の常和を腐り、一面縣内各市町日、經濟界の中心地は忠陽市で門部、一征する三十餘行の銀行と共に資金 融界に於て重きをなし、都市に放

有してゐるに過ぎぬ

共に本原産業の開鍵に努むる所が、業・刻世子跡・既は質量の如きと 感くない、大能本際に於ける銀行 に設立を見、後貸金原社より組織に担前初年國立銀行條例制定と共

度統計によれば三十三行預り高共に四天しついあるが昭和八年預念、復付高も經濟界の極達と

皆さまお馴染の

Ober religion of the religion of the religion of the religious filter religion of the religion of the religion of the | 陳多帶をご信知ない殿方連は例の | 四條天長諮賣年間商田屬三右衛門 そも「人合をさる六百八十條年前」の職方をするもので音は植物的染 などにも愛用されてゐる際多職は タイで信用てをらう順多能 ショウウイントーに飾る。たぶり一によつて作られたといる古い歴史 や、タクばかりでなく、

続地 | 尺 地面も琥珀地が多く織方は男工が 年三百萬圓以 島 を持つものである、

搬物組織は平 打返式総方といい地国耳蘭学符集

なんといつても可愛らしく人形界 から呼れてゐるからお人形でも伸





、勉強するのである地征五十萬国」として管阿修に組られてある。 過一感の倉地心、碧風の飲食腴的あらら少くも五年以上は人形肺につい。紙で組られ続きすルと共に織し都・市佐つて組合総軸に寮田し、生産

王標である。これをつくる職人 | 久留米市の下梁は早くから久留米 | 緑五丁楽組会、画楽組会の設立に 5のではありませんか、発も一時不振の狀態にあつたが、 を舞売に



|局下組及び元賞芸の八端美術所等||料を以て着色するもので、以前は り易いといけれたが、今日は我同一般の復勝が出来るわけである。原すよく職くこけれ易いとか、再くながもたらされ、併せて軽化ある景 紫部の巻 は、本方面から客の來世に多次の便复し、本方面から客の來世に多次の便复しめの東定である、これによつて哪些。 中で難く きく林までには完成せし 立所が、を思聞とすっ一に自動単道。南口岩山道を必要とするので、 時にまづ回転登山バスを買いし、 の規能に當り目下これが工事範囲 一方派本から一路直ちに山上に至 人前年極光温機式強性に設立と同 極光脚段を計



のパス利用省十七萬五千餘名、十

師の進張と共に、現在三十三行を 八十五行を有したが、其後整理合 たのが願る勢い。大正十二年には正七、八年賦界好況に新設せられ 雙更したものも相當あるが就中土

産業都市久留米!

その背ゆかしき城下街も 今日近代的下

第後地方に於ける経濟的中心地をなして建選し來つたもので、個々れて以來、明治に至うと。1百五十有條年間、所證徽の城下町として 標河の南流合併三階縣と敗められて、脳腔を此地に置かれたが、明 **産品工業の素地となつたのである、明治四牛、健滞治験で久留米、** の産業は部の動業政策に依つて保護助長されて、今日の癌権なる特 鹿薬部市としての久留米の沿革は近母七年、有馬氏蛇の地に封ぜら「治九年三族縣は龍湖縣に会せられて、縣職は龍岡へ隊つたのである 名物がに鍋タオル 夜店を跨る個人の資本主義的で出の死戦を見一辿の中小期接極遊船門方、大正にかけての我國資本主義部院の総選に伴い休市にも近代明治、大正にかけての我國資本主義部院の総選に伴い休市にも近代明治大大の間一方 工業と相俟つて久留米の産薬師容はこくに全く一新されたのである 開治二十二年、市制施行久留米市となつたが、當時に僅かに自数四千

御時海外に 生産

併し戦後の經過的不況と共に斯業 ゆる近代にが置行され、日 を増加し活況を呈して來た。

目下立野からの車道を計畫

声影を行

経好のドライブ路

行く一點無限の突襲またすばらし 路線である。干米内外の高原地を 路は大阪路で発音小質器から分散。對降して赤沢暗るよく、湯量の多形とれた久任高原産准自動地道。西途に肥後小野人。道く芸蔵に相 く、避好のドライガウエイである し、大分縣圏ノ本に至る十六軒の 完成し、國際ホテル設立の記録も 進められてある く将來は旅館場歴の外文化施設を **六河蘇登山バスは三十人乗り日本** これも日本一 **州人乘バス**

同社が証色する潜人公温泉は、海 眺望紀佳 湯の谷淵泉

那分は森林に被はれてゐるが、阿 街像してゐる、上りは微五十分下 拔八百米の山腹にあり、胎立の大 山上神乱まで坊中霧列爪觀岩紙に

七十総下り五十段 バス料金 取締役社長 赤星 典太 役 推復一個、上り

生 商 Ji

木 社 尚 縣 飯 塚 市

本 電氣株式 冏 曾

市

上の息製は設電所

撤職産業日本の花形としてゴムエーは流々、民良された将來その倫奘の に終へてをり、天思的地の利も良 第久留米は世界の 脅威の他となつ 式に和郷は服料豊富な産地を近郊一 大衆性の爲に大いに徹底の餘地あ **るものである** 久留米市野中町タオル工業組合 久留米傘

筑後木雕の如き相當名を知られて 帰田される際になり、硝子製品、 いのでその生産も多く、現今では た。共の他壁胎・奥に忠正直般の流行町鉱となるに、南洋方面に窓| 製品として天下に知られてゐるが、南洋方面に窓| 製品として天下に知られてゐるが 2階好を呼んで | 陸田し、斯界の注目を惹くに至つ 子生頃からの一早く上帯新な意匠と聴覚さを以て んとしてゐる てゐる。近く工業組合も顧可され 年盛間 二五、OODII ある、その生産

高は約三百萬國に 四萬度から二百萬度宛想記されて 同業組合があつて戦気全部につき 脳疾の副業としても盛んである、 ものほる、主に丁型で造られるが

側型で、近来外人の 赤いの如きな明白 爬の名は並く支那、

際新なる目型が興ぎ

組られる際になった

みる 5のがある

明治三十年本市川崎峰大郎の印製 年進版(三〇〇)

術、合理化の採用に依つて徐々大

ヤのゴム工業は、その優秀なる技

産物色々 藍胎漆器

博覧會見物の 團 體客に好都合

八町で山中少女が乱朋してくれま

重 役

で飛歌に属きをなしてるる

の知ごを確する中にもカットグラ 金、其他要は吸取なるこれのホヤ 題の〇〇〇五二語の

としてその豊田は「京米品を後期す」としてその豊田は「京水品を後期す

る。一切に新なもので内垣はもとよ り遠く密併、南支部、印度方面に ンプレの旅波を受けて緑々有卦に まで加出されてゐる、近時軍艦イ

入つてゐる 検査する **久留米絣**

品質の よいわけ

の重要産物の一つとして年を百三 る、この新は人も知る斑峻年間際 米緋をボロにするには蚊手はかり みようとも、日本の中駅生から久 洋派が如何に帰倒的に用しられて 女の創製したもので、今では同地 て、どんないれ代の思想でも久留 おいて、また在地の弧靭さにおい 素質ながらも失けれない上記さに 団米緋をとりさる事は出来ない。

てゐるのだから市場記は優秀認で一概如を行び不良記はどししくはね 久留米絣の全國的に営用ある所**以** でもある

久留米市三本町久米和同盟盟

久尔米市 工類類 話 窗 久留 米 市 勸 梁 窗 久留米 市 勸 梁 窗 久留米面 品 阿 列 所 久留米面 工 窗 鼷 所

久留米交通 主なる質社

・ 連絡自動車株式管証、九州鐵道 合、大川織道株式管証、九州鐵道 会、大川織道株式管証、九州鐵道

型 ランに达るメトロ社は初夏の五、イルニナーの二大作を中央四月のエウ / 「米隣の機密宝」『アンチ・カレー』『米隣の機密宝』『アンチ・カレー』 『本紙愛讀者優待』 若草映画劇場 皮膚泌尿花柳病 あなたと呼べば のむない 目方ョ 家の夫君の優しさは『カなアた』と答へる『かなアた』と答べる 二人は岩アい。棒げるカルビス

二人は若アい。あどは云へないなーにさ』

するを飲めば

料飲强滋の愛

頭痛:苦痛!

1

トホームの食卓よ

低廉さの 遊 養 分



元 造 製 駐會式株業連番日 內ノ丸京東 元 馒 殺 齊廣洋北社會式株 內ノ丸京東

の歯と開査! 云たのに海 親があつた 盛心した父 帆と坊やは ねてひどく 方刃 サウダ オ `!

銭五十價定りあに店甕品駐化草煙

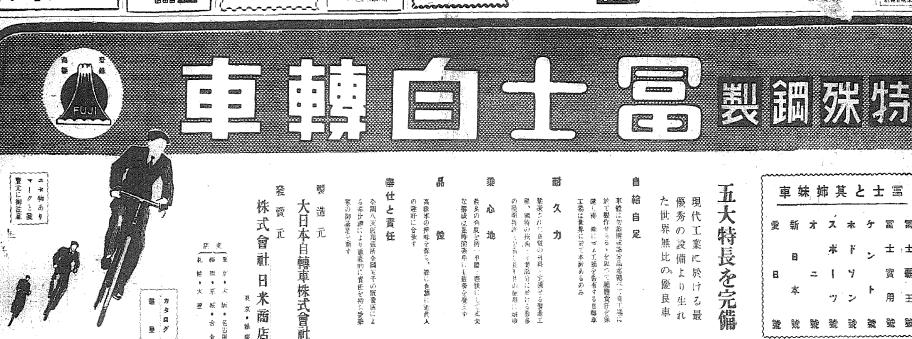
旋劑 .36

77

目方が!

一日報十錢十錢 -£ 9 .20 .50 1.00 2.09

.75 1.X



- 歴状にして丈士

見の触用に

は近日中に直接御通知申上げるご共に全國同業が開紙上にも登表します。沿線にです。答案取鑑の販量店の地方最高電並に全國最ぎ質の八貨店芳亥。 図等、五等の賞品は直接御送附をもつて登表に代へ、賞品は一ケ月以

総

本

店

þ

式會社

В

米面

界無比の優身の設備より

優良主

殊にガム工場を供有する自題車

當選者御芳名を左の通り發表(滿洲御愛用者の分も含む)し熱誠豫定總數二百萬を越に所轄警察署、新聞社、同業新聞社代表御爨に騷賞募集のクラプ美身クリーム (クラブ淡白クリーへ ワラフコー 気の愛用者優待 通り發表(備例御愛用者の分も含む)し熱誠 で 一 の 上 版 で 一 の 上 版 で の 上 版 で の 上 版 で

が気を博し、

/ファ美身クリ 日〇四萬〇〇二十遍)豁はずなる抽籤を行ひ、弦に特等、恋者御皧待大懸賞は壓倒的大人氣

國境で談笑裡に會見

は相當性目されてゐる。而して製造されてゐるので當日の名

小川新商工大臣の喜び(サ八日祭内をまへに)

異葉省語に於て決定した

三九、〇〇〇

が深堀参謀に握手を求む 脈明朗なる空氣漂ふ

理春二十日藤井特派員特電」を第二事代で行方不明となった韓田一等軍隊、吉田一等兵の引張交換はその

ユ蘇聯大使から ウラヂオ交渉申出

重光次官これに**同意を表**す

騰超し得ない、ソ輪側としては外交交渉にで解決したいが、日本 と交渉を進むべきことを主義してゐるが、ソ鱗側としてはこれに 民強子神件について日本側は効量の鬼嫌において日ソ陶重常監問 に聞恋を表した、次いでエレニエフ大使は薄線で卵留中のスーチャス強子に重光次欝を髙励 に関密を表した、次いでエレニエフ大使は薄線で卵留中のスーチャス物管に置光次欝を髙励 に関密を表した、次いでエレニエフ大使は薄線で卵留中のスーチャス物管に置光次欝を髙励 に同恋を表した。次いでエレニエフ大使は声音でなって重光次驚もこれ

れてあるが、中でも世目すべきは

れてゐる態化。その軸向は南に最「長長爾隆」即、驅東局總長大野跡」と云ふにあり、政治的總及の追ふ「「新京三本書館通」湍洲國總務縣

と云ふにあり、数治的糖炎の迫ら

るのみならず自ら促進される結ったるものと思惟される。

長岡大野廟氏辭表

東京電話】新内閣の成立と共に一

一各方面から細々と新提案

は であならば作サッジオ杉下熱領事と同地のソ線官衛との がない、ソ聯関として外外交が近て解決したいが、日本 を進むべきことを主張してみるが、ソ聯関としてはこれに を進むべきことを主張してみるが、ソ聯関としてはこれに 事件について日本側は紛争の現象において日ソ融軍階層関

竹間調査局並に資産局方面の見望 般の實情から見て一般には早急の 徹底的 ※語であり、説

更 版 上 式 新 战 給

重用機

ウラヂオ港を擴充 萬トン級商船十隻→建造

ック以果擴大に騙しモスコー纏ル「数は本生中に完成就前の物定であ」告によれば、彫大便は今来事件の「アコフ氏は即答を避け服器に限出して第二十日同盟」ウラデオスト「ることしなり素層に確文した。九一田大便より卅日外野省に選した最「右帝國の主張製水に對してトモニー | アドックの建語、原類能力の増 【東京電話】長衛子における日ソ 焦順の重大事物である點を强調し 東部國境地帯の調整は開國にとり、約し資源を終つた 加き危険なる事實が觀聴する端ツーして何分の正式回答をなすべき言語

に亘る山丘関域地帯の確定の連接鉛筆の傾截する処別別調門江

米面線航路に使用するため既水量「大田、ストモニアコフ酸源は甘七 紫が難けられてゐる。その他極 兵働突事件の隙思なる芸行の間に

英軸線の商船二十度が配船され、日モスコーにおいて行はれたが大

植田新大使

國書を捧呈

別書たるウラチオの順級を制即し一級追してゐる。ソ聯は極東唯一の一 - ター通信社は左の如く大々的に

モスコー會談

『を担しむべきであり、満一上た結果左の如く決定したが右のの主張は瀬装南壁に代表者 内壁状態度泉が不成立像泉に比し、一種増加で委員會と関係が 一種増加で委員會と関係が 一種大響館に雲本樹浜戦として四、

新地区職員東市今部に新大地 本出典へ等国家部員以下を従 へた。同日で東北地地と同窓員 内市区を大量らに動民権院記 地区人へたから基督所下には

美體司長は宮内府が題しの自 説下した

司令官とし て再度謁見

外蒙機越境

日満軍を爆撃

ヘブフスルス 人西南方称八十キロ)西北ニーキロの地 機より影覧室地攻撃を受け我が万も己むなくこれに

この度、天皇宗下の大命を拜し瀬湖のこの度、天皇宗下の大命を拜し瀬、九年十二月春任以来一年三ヶ月の版、古野の一方なら放お世歴を終るした御声では、謝意を表する、俺か一方志に関し深く謝意を表する。俺か一年三ヶ月の版入

しニナー日戦闘の群を慰安した内容 确全能大使用次退大将一 大业州一日同盟 期期東軍司令官兼

に製設領域に

離溝の辭

かに執り行はせられた。

即十億より動民域において嚴善に権用著大使の信任状を

式は三十日午

げ置いて南町大使の解伝状態既下よりの嵩上説を明瀬中上

[新京] 十日同盟] 新任順田

国を従へさせられる国に田園 として な音響下に陽辺即撃 原用大河側の柳原にて張外 20m、正年東の柳原本の今国 第1年大河側の柳原にて張外 20m、正年東の柳原本の今国

調整に闘する左の諸監を明示して 日福和機側の職定方針を詳述國境 世、開催、司法、文部、遯信、農林、社会の大学名養薬貨融第二日は三世、土日午町、午後に亘り蘇和宮駅に き昭和十一年度哲行像原案編成 【東京電話】特別議會に提出す。 豫算省議 圏策のイニシャチッ乃至其能的内閣調査局の 恐怖護元は 重要和を計らねばならぬ、また一方 上案を各省機關より内閣並に

各省はやがて即なる行

月の間には次から次と大きな仕事をして恰も例十年の長い相間であつたやうに思けれる。一河の流れ一個の路といひ只今諸殿とお別れすることは恰も同い年かの縣頃と独を別つにも似て惟別の情戦た業でがたい

来るべき 選多のほ形来に約束されてみ

ラ浦州は建設途上に帰道を網

9笛であるが、その内には地方は野猫町質の豫算楽について記載さ

出される海になってゐた浜常馳歌帝衛に第一難追加度原案として堤峻神紛金支約過期前による六十八處神紛金支約過期前に去る六十八 まれてゐない、なほ三十一日は内閣の新政策に基く 經費は 未た宗配と 不成立寶寶通りであり 現内

田の経費を良って知の通り結果計 最新校の製価券部上線接回信られた 野戦車側共第上線接回信号 地兵末時、大橋、武夫 世兵第一線底側横偏長 世兵第一線底側横偏長 世兵第一線底側横偏長

東京電話】今次事作に開 で

事件に伴ふ 尉官異動

統合國策樹立に

省の廢合は必要

内調を擴充すれば自然實現

調査局方面の見解

長動關係分 長動關係分 步兵第二聯隊附 步兵大尉 小形骨五郎 同 上 步兵大尉 新井 <u></u> 步兵第七十三騎隊中隊長

植步兵第一聯腺卵 步兵第七十 步兵第八十騎隊附 E S

[東京東語] 今井田政府總監は 監きのふ着京

豊富民の出班へを受け上機嫌で入

諸問題に数さ抗動組織を職取、今類単に水陸連続での他語道観像の 準派長からは移民前社案のその後 後の方針につき協議を遂げ田中外 の鯉壘、上浦人事職長より新規株

用者の状況を聴取したる後記者派

と層見、左の如く離つた

なる要件だが磯道度原願係のこ今回の東上は子供の結婚式が主 實址の問題もあるがこれはもう「大大作態伝い制管」ので少し早めに出て来た、移民一貴族を編成して郷 とで多少折断を要する事がある

大れ替りに出て来られるやうに りである。平距總督は多分僕と 大るものである 人れ替りに出て来られるやうに 那はない。なるべく早く用件を 定するこになった。 大勝語がついてゐるので大した

北を土曜に朝鮮器 行きに決し來る四

స్త

が 関 日 国 を 関 日 国 を 関 日 国 日 国 を 関 日 国 日 国 を 関 り 日 国 日 国 家 週 り

四月より開始 鴨緑江の調査

勝河川として鴨年江の共同調査を 日浦州博は部

つも 一般来の糖能に大進剤に限の基値と一件を一定するこになった。なほ右調剤は る水路變化を調査し **原則** 安東三歐 質別、安東三歐 職より河口に至 月上り海軍調量 高良航路を決

はけ簿毛

液出毛

色

大腕實 廉時用 賣計向

ロタで 型ネリバ 両同間同同

九型十石入 六十八〇

八般七石人 七五〇

同 十盟十石人 元五○

一千メートルの上空で投票 **麥逸總選擧異風**

景

坚定正確保証符

代金引換で吸送す

大金熊八型十石入 八十〇〇

作立ての列車で履載を越えて第一ある、その領土の際な子供を住んトリア 居住ドイツ人四千は大郷部。 暗書は遙かにすぎなかつた機様で 人の手によつて駆行されたオース **人の手によつて繋行されたオース 張した、投票は座めて好成職で乗」の推絡を計る共って上は勿範室世界に取りドイツ 1(』と金蘭館大々館耕田 に既 会議院 選方法に変したり、選方部委員となる。 「一日 日間間】廿九日ドイ 春の後端は「人のこらずヒツトラ」館の網話事項は** パリアウに帰り込みこ。病味にあった だ個人選も投場に張込んだりかく

夕刊後の市況

型タンタ型十 六 入石七剛---

则绿流型十 五侧六 入石七即一。 七 入石十

一郎 南氏は 施田東部院 登託後期 あげた飛行船クェフェリン仏號、 聞その優こと切れ大幅ぎを測する一郎 南氏は 施田東部院 登託後期 気した。ドイク政府は寒黴を防止、なく全國悪所々々に備へ付けられ、トルの上交で投続する政光度を、出した、午後八時間が開始後まも、ヒンデンブルク壁指奏詩は二千メ、など、魏るところ院瀬町関車を施 経日ドイブの上宅を推んで新勝をに投版を行った後投版場出日であ くて投版機を行便した。選舉當日 七十餘歳の 石人が完全

> 八脚丁 五列五

女男日 文唯

文上養

浸质.

學文京東

衆はラデオの前に併りナチスの勝

丁▲石川艦新二六圓六(出來每二

▲大同産業二個

● さんな田舎に居ても日本原稿を渡りこみたい人 ▲原稿を変りこみたい人 ▲原稿を変りこみたい人 ・ できません。

的運學詳 成 2

院

ためあらゆる手段を轟じ、就中午 の結果を到る報告せられたため群

村用して「時間位まだある、諸一利に曠墜をあげてゐる」、時終了時間間ぎわまでラチオー来はラヂオの即に鮮り、 有益
たった 新京の二日間

(年間後) 機が飛来距線の合額によったのある、供給された形型に主と、線を嵌入してあるとも明となった。 東部は、宇白良子派活油東京方 た石ツ線通線の距離は飛撃不明な 産品紙の場離をうけた線入等を利 にルビン州日周盟 生る土七日 を締結の上東南方に向け飛び来つ ある石の如く飛行機によるほか馬

り雪明りを利用して密陸部語理要して機關銃、小銃及びビストルで

借別の情禁じ難り

諸賢の雄心、聖業恢弘を信す

・南大將俠別の辭

脱書記言を確今三十日年投六時安 と、一月以來施行政、私、大学、一十日電通 一有田大使は夢 男子はまくしまった。 『電通』有出大使は釈』東通過盟下した中中に刺を通する

▲ベンシルヴアニア帰マホネース・ビーブル ス教 様での 他で 構成要素に感じて電影に變化がいふ至極間部なもので▲地盤の

殊に無理炭はス ヒールまたは沙岩等よりも一 心るのを利用したものである▲

レート、オイル

製材を以つて地層を整理すると といふのは電線を中心に通じた

された▲新方法

朝鮮から二人

開出來る語で

の方法は電網鑑化の比率さへ膨バーセントであつたといよ▲こ

定されては鍋、鉛金融等の所在

且下観意研究中とのことである 本日朝夕刊十六頁

| 題務課)| 間上 制度に統形態式 関端架冶金型會 部)就任依認のた(朝鮮軍器謀、朝 配近ニューコ 十日第人城師即 (頻繁軍司令部 靈。藥

無の車効有り が探・リウェチス が変・リウェチス

〇杉山家傳藥說明審池是本館

杉山大黑堂東京市本所城石原町四丁目

木 (年四十二治明紫劍)

た緑杭が炭層に到達すれば直も感應度が高く▲若し電流を通じ

に電路が低下し炭層の所住が報





明治はオハイオ州立大型ゼー

の新方法の総



結果は効果百

農業教育會

喜農村

古の奈良の都の八重櫻もある

技は蝦形に膨がつて約四間学に達

してゐる、花は淡紅色で毬形に映 根拠りは七尺五寸に過ぎないが、

神代際に次ぐもので、白の彼院と目辿り二丈九尺五寸で大きさでは

指定……大正十一年十八三百

指定…

れ無機器中の著しいものである。

花跡の数も三百に歪すと云は

中將姬醬願櫻

指定……昭和四年四月二日(清水湖觀音瞳內)

釜にすることが急がであることは脚へないことであり、脚段剛を記 ではないが、奈良の機を歌つたも 棚の歌は最もよく知られてある。 種である、此個の事を詠んだもの ったので、座にあった聴脳道長は 職院彰子)に襲を捧げたものがあ 即ち伏見天皇の湖時中宮上東院 のでは百人一首の中にある伊勢大 に命じて歌を訴ませた 古の奈良の都の八里優

の現れて來るといふことは深憂に

と云ふのがそれである **盛岡石割櫻** ける
ル
重
に
切
い
の
る
か
な

自の後岸機が巨大な花崗岩の狭 历山 岡(地方裁判所権内 岩手縣盛周市內九縣 A.年二年二月七日

の気像だけに任すことなく、

協力が第一級的であり、貧局者 であるが、これに対しては民

おいても、その質像に自動的に

能見て言言手と芸はれてゐる。こ は石の玄面から一丈七尺もある。 ので「機能石」の明名がある。衛 後として空を施ひ之を望む時、恰 側目に確住したもので、最の際さ

現れなかつた数字まで表面に出て 思想の翻選が、思言を認さなくな 宝つたといふことも出来やる。 敬値であつたことで、民衆の衛生 年出者が多かったといふことは、 米たゝめに、豫異的數字を示すに ど事質問題として斯の如き數字 方から見れば整総機器の活動が たといふことから、從来認れて ものと見ることが出来する。昨 | 日本の歯花!『櫻』――その歯|| 日本の歯花!『櫻』――その歯 の八重吹で概としては珍らしい殿 音から有名な概で、花は紅色中輸 知足院奈夏八重櫻 指定……大正十三年三月七日 極樂寺の野中櫻 何と幹の廻りが三丈五尺

別化をはかることになつてゐるや

で国際省局だけの批准とせず、 ある。脚も間局者においても、こ

勝い質とかだけでなしに、大療体 則有力部と励力してこれを行つて 施設を完全にするといふのでなく 行ぐといる立即で進むべきであら は効果があがられ。原影像とか 刃するところあつて然るべきで 外観は丁度石を割つて生じたやう なので配名がある、交花時には期 整局の大和心 記ゆる我

この優の花徳は二寸に及ぶと云ふ のほめ北家臣が建立したものである権定……昭和二年四月八日 「香蘭書きる」、「書」「名皇史の書」が 大幅の紅山櫻で汲江色の大阪美しる、 難院寺と云つで源三位親政の音提 いものである。極楽等は元野中阿 小木の御所櫻 指定 明和三年十一月卅月 境内)

山高神代櫻

村松一次は支に履って日本を

は飲むと間に合はないよ、鉄道 サスキー四台地位けるりとあけ

際へて今日に至つたのが此の傷で

男女はこの優の葉を『御守り』と を現れ結べ』と祈願された、其後 末世結線の弱め男女の下病、難産

なれて来るとウ

型るに従って接へる頃たま!~目 ず値になられたもので其後国命を 。就に相成られた例り記念に べといふ器地らしい巨木でこれこ 岸機であるが銃廻り数に三大五 れだけに由指法さ名木でもある 止に日本一と伝はれてみる、 日本、民種が創東正の帰途比談に 大売園に来られ、この時この 指定……大正十一年十月十日 ね、例へば東北の納見はらまい 透端なところでいるものがある 歩かぬが、影節などころには、

櫻樹

敵は四れ、長崎は鱼物も女も盤 うまかつた、大都曾もこれには 山形器の派湯温泉へ雪の造る目 たが、波域の納良などは無限に に高いて湯から上つて飯をエベ

越後の三葉・『紫歌にいゝところ 色も非常にいいところだったが

然記念物の指定を受けてゐる(配事参照)自彼岸樓、幹の開砲十一メートル、現在天山梨縣北巨麗郡新宮村山高に在り、種類は

れども、一番の脚族の地を飛む なのもあり、端の色は黄色白色れども、一番の脚族の地を飛む なのもあり、端の色は黄色白色 高く或は低く、互に相交つて配 の如き自砂が豊富である。文岩となつて居り、谷の下流には銀 り曲つて流れてゐる等と叙述し 々の趣を添へ、其間を清水が曲 となって暑り、谷の下流には銀に従って美しい野味を帯びた岩 は平たいもの許りではなく或は には今より四 立派な岩を一向知らぬから、 した。其の意味は主人は彫内の

おける財政部は特にこの衛生訓 底させるとが必要である。都市

後は回々戦闘艦船と共の数を失っ も勢力もなかつたので、文宗後 あつたが、道戦はそれ間の説史

材利予量即も星祭开戸であつた 令は『兄弟井戸』と云ふが貫は

文字が刻まれてゐる。 此の文字 の岩の表面に三震温門と云ふ大

の苦もあつたと云ふことが記さらけ用能ではないが相當な規能

れである。此の敗北は藤磯き松

施と云ふ作品が配を結び、

或る人の説に依ると此の井戸は **郷水に近い所であつたらしい。** の人々が好んで飲む「兄弟升旦」

調の領場の東側には異風形に高

ったと際へられてあるが、三清

三清洞の入口には古來

組営な大門があ

る大岩の下に、他人の郷露道人

記には三満洞の文字の刻んであ 多くの名所があつた。原國名山 道数の三清殿があるのみならず

も容砂に抜くべからざる屋力が

等の歴史があり、遺画は売り角。東河の説の塩點であつて、射近底道を加へられても、何しら多。間で譲つて云ふ三角山のこと)

にが密要であり、これなく

行ふことを取することも必要な

重み國策として宗教

その地名の起つた由來である

三清吸

の位置は果して

南山の頂に光つて居る同能を理 する壁の中で大切な壁は南極老

人星であり、信徒は三清殿から

能づてそんな土地であつたから

したと解へられて居る。

であらうと思ふのである。

即ち衛生思想の要及をなかると

ふだけでなしに、衛生訓練を

とか滞さらへとか下水の整理とか

て別反は絶動的に期待されのと

て然るべきである。一方都市

の衛生地設の完備に向い

なり十年なりの間に完成するとい て関係的説明をなし、これを近年

原頭が完成した時の衛生施設その は京城についてこれを見る時、 おすを立てるべきである。例へ

蘇みないとは逆だ慌なべきであれこんな主題の地を留守にして の膨脹すら見る膨がない。終る象にある時は干容衡水金く自己 既宅が此の地にあつたことが面の承記の官職にあった恵止亭の 李弼第十一代中宗王時代に宮中 つて、其の表面に武陵殿とか色 と屏風を立て離べた概な器があではあるが、西方の谷を尋ねる ふ意味である。今公園の高頭外 は更に之を延長するといに電視 付を受けて公園の施設に若手し 臨は朝鮮總質府より五萬坪の貸 地は騒有杯となつてゐたから府 とな文字が弱りつけてある。 遊道路と散策道路を築造し昨年 年公職が設置された此の公園で くも古來有名な土地を選んで

北原日秋以など、明して配れな

能来説明の科学能飲労を歌き、爲国要性を持つ馬の生産に働しては めに馬の經濟的影響上近畿の點が 技が馬政計型上、技術的に最も 以度制金所以肺佐脈聚雄門士の手 あつたが、この程度林省、京成部兼 によつてこの確実が完成態要され ると大型次の如くである いまこの研究の成果を總括す

日と假定し奥利、日高南浦馬牧卵を設備に於ける良穀惰の最終 「觀査した結果、穏付に排卵前間隔が妥胎に及ぼす影響に就の六ルセ例の種付牝馬の時間 排卵と種付 離当所による散態方法を指導すべ省では離付期を燃へ各産場地方、 右の外型なる架跳に盛み、殿林

長短及種付回數には關係少く、受胎率は四割條で受胎は確情の日に及い持続件被情七十一例の日に及い持続件被情七十一例の

主として種付と排卵の時間的間

付方法 以内に行ふべ

身の他哉とは間じ歩と、落番と呼転の切

話があります、

調でその値点を保つ

てゐるといはれてゐ ました、徳川時代の

て牝馬の側性を明かにしての方法は過去の種付經歴に い所で五厘、高い所で一銭、それ出して見ると、西南戦争総は、安して来ました、さて蕎麦を引合に 機として、この三指子に異常を記 たわけですが、かの欧洲大概を突

府氏は理解を持つてゐないであら

た 嶢の下水道 一つについても、 南生造制の発及といふとは、

れだけの理解があるか。完備

都市の全貌について、今日の府民 市としての理想を消退一般に知ら ものを異元に膨脹しておいてかり

こめる必要があるのである。衛生

とする宗教であつて関る理世的兵犬、路部の領利益を受けよう

の特質を持つて居た。そして他

此の宗教も小三位の神位を認め

に居た。それは上清、中清、 の宗教にも三位一體と云を如く

質型病院のある町を明裕減と云方に設けた。 現に三清明の富方

昭校署と云ふものを三清殿の南

此度が古来京城第一の勝意地と ばれたのは異然でない。其れは

それから、交通のの事務

風無、皆淡、無常、自然の道源に

は支息の武治老子を 始組とするもので、

それが感音の観出で専利即与足

場が行とかわったのであらう。

道政は配を祭る宗教であるから

からであらうと思はれる。此の敗近には失張り門があつた

ある識を配置、下方の谷を西間

名孫のついた場所がある。西に つがあることが特色である。そ 極々の形をしてある岩石との三 の老木と、清らかな水の流れと

三清洞 が今で京城北部

の公園として選

である。交英国なる國王であつ

は平地があつたそう

谷とか、張慶と云ふ場所があり と云ひ、其の他白蓮峰とか霊蔵

んど日中は家に居らない。風

安平大街選氏の別班さへも建てた李領第四代世家王の第三王子

一日で 名山配には此の透の

主人に代つて之を挙しんでやら

書き、日月基版を拜し不忍、長年

此の様な井戸の名削が出来たの

であらうと云はれるのである。

耐主人が一向知らぬから一萬里 |程と云ひ、交深川は短いがこれは大にかくれたのと同じて大腿 指言人語岩、谷川を恵里と命名 其の庭服内に取

の遠方にあると同じであると云

るとして、友人李行及び中間は ベンチ、享等の設備をなし、 も二層所を設ける歴定である。

整態性所要が通用しての通俗

未頒から、日露販売

分娩後の設情

本の認識で音から「佐藤の三篇」早やその感りを過ぎて枯寒に向い一息)が雄略帝のため三十年の長い、名が出たとも云はれ、既 じ窓に関鍵の所顧をこめたるに不 れたが後に都へ際られる時、 慰力つ」あるので日避はいたく之を職 間、根部の山中に居れ忍んで振ら れたが後に都へ歸られる時、僕の一首を自分の歌地である此處に持ち へ 来つて 跳つたもので 獣の根本にあ 遊へられて 一覧私とも云ひ、文足立案が範頼の る所塔の頭が塔の一部であるとも 題々と到つて慢音解だが、それ てられて陸つどきになつてるが

める懐で、黄芽に自花の一重と八

里とに映き分ける珍しいものであ

日に至ったものだといへられての、思語にも次第に動いを盛り返し今

る。交この謎を詠んだ歌がある

『于本かと見れば一木の樫哉』等

根尾谷淡墨樱

. 岐阜縣本巢郡根尾和

解へて『素久帝御手権の極』

兼六園 菊櫻

指定……昭和三年十一月卅日

手植えになられたもので此の領手 後の貮化天息)の御産版の趾に御 権の概念を決量の概だと解へてあ 若木を第二王子の権限爲出王) 所在·····埼玉熙北足立郡石戸 石戸蒲櫻 春

(請求編輯菩境內) 磐島子の河二里弘計士(後の顯示)る處は確認義範賴が住居の趾で傺。て日々花原を報告せしめたといふ酸阜縣相葉越非見村。 ば、彸中天皇の第一皇子市造跡神。の太韓に分れて居る、この樑のあ。れ、花晦の近づくにつれ近待をし書『展刊 はあるが、山本砦氏の文献によれ 太六尺と云はれ此の根本から四本である。これにもいろ~~の際版 中の配大のものである、柳郷り三 文六尺と云はれ此の根本から四本 茂屋とはなら極の世で帰東平野 通り三丈一尺屋ある。昔三野藩で 大正十一年十月五日では、これが日本の国本である日 し且つ歌公もこの凄を非常に受さ は特に化の過を発掘地として保護 これは紅枝垂の豆臓でこの種の臓

上やした言びの地は験

まゆげ、ハゲ、薄毛、〇部に毛のなき方へ

毛が生えるか・・・

を無めた多くの人に職当な主生家 を無めた多くの人に職当な主生を を無めた多くの人に職当な主生を を無めた多くの人に職当な主生家

|天皇||の個子大連王(後の繼備。天||は範魁が手植したものだから此の||由緒ある名木である

なるを築む大和の常原寺から標道 中野姫はこの活り観音短駆あらた 機で名木として昔から有名である

を持つて来て此盛に植るそして『

キスキーは質にうまいね、日

天平例学年間忠美押に販売の時、

七寸と云はれ山桜性の珍しい八重一般が出て居る、柳郷りは一丈一尺

四間半で表元から八本の支

うと思ふ、こゝは蛮鶏よりもい。田中・北麓館に自分にいゝらのがかつたとか……是非行つてみよ。」。合せだね いさらで、一支のうちでは一番 いょんだ

概で露水といふものをみて、日スで一周したことがあつた、鑑 ノ律へ行つた、こゝは長崎より 村松 併見あたりの職者は近江街 有名な花御界のも東北からだ 東北から來て ある、

養殖法新學說

種付は排卵前三日以内に行

馬産指導に大曙光

し八日より早く酸個したものは成る可く早くで良である。故に分娩後八日

迎く交迎く設備したものは日

持續性設情の受

分が温まれた時が一番いくのだ がい」といふわけではなく、自 いゝといふことだ,しかし至那一村松一一昨年島駅事態を一人でバ

置なのもゐるよ

何でも並だよ、つまり廻り一一番くて、他緒のある所である、そ

指定…… 大正十一年十月五月 大字語字優久保

を女二人に小さい女の子が歩い

てあるんだ、みれば一人の女は

後の顕節のところまであつて見 事なものだ、それが綺麗な色の る女を待つてゐた。そこを女が スを待つてゐながら、後から來 を途中で 消ひ越して、 と非常な美人だ、僕は彼女たち つてゐるんだ、前へ難つてみる 大きなビロしドのマントを羽蔵 育が高く四尺もある法型が誤 通つた後で茶屋の響きんにどう

素根だが食物が思いれ、泉北の方はは思はなかつたね、泉北の方は ののスターかと思つてあたんだ あたりにかゝつて、さらいふも は最初標準かサーカスかがその で崩潰から膨つたばかりだとい は規や総選にされたのでは、 られり無毛

生の幸福を

にき、配記せしたらことは如何なる手動 を動しても全統別式のですったい。 を動しても全統別式のですったい。 を動しても全統別式のないものです。 を動しても全統別式のないものです。 を動しても全統別式のないものです。 を動しても全統別式のないものです。 を動しても全統別式のないものです。 を動しても全統別式のないものです。 を動しても全統別式のないものです。 を動しても全統別式のです。か……これは影響では、ですることがそのかしい概びに規則する那人の成じ、何かよりに対してよることがそのかしい概念してよることがそのかしいです。 を主、生、の、喜びを モ生、生、の、喜びを モ生、生、の、喜びを モ生、生、の、高い、と、心で、 は、ことででである。 では、ののでするためです。 では、ことでである。 では、ことでである。 では、ことでである。 では、ことでである。 では、ことでである。 では、ことでである。 では、ことでである。 では、ことでも、 は、ことでも、 で、ことでも、 と、ことでも、 は、ことでも、 に、ことでも、 は、ことでも、 に、ことでも、 と、ことでも、 と、ことでも、 と、ことでも、 と、ことでも、 と、ことでも、 と、ことでも、 と、こと、 で、ことでも、 と、ことでも、 と、ことで

大阪髙津表門筋

できない。 」と称事淋病諸毒を下す 何▲意料+整維外四十二級銀上を引下は便道をよく 東半週分素鏡 三頭分二 四数上を引下は便道をよく 東半週分素鏡 三頭分二 四数 一 効能で買れる 本家セジVや伊藤長兵賃 九二七南電·三七九阪替振

して治療するの體毒や血中毒素を 戸神經痛の治療

捨てゝ置くと節々が 固まり手足が曲る

マンベであるから、 から、生づ航後中に含まれた極病しているから、 はいのではなもの といから、性が脱ばないないなりますと、 はいのではなりがのでありますはつて唇も披衣もの といから、様が脱ばいのがはなっくつ といから、性が脱ばいがはないがない。 でお祀りの本紙を選ぶには無いてお祀りの本紙を選ぶさには無いの本紙を選ぶさには無いの本紙を選ぶさには無いない。 から こうしょうから 今スグはからで申込んで下さい。 22 福 福 哈

の「不感症自宅療法」をと 液と際山の奥展が不够起の機 電話六〇

性の不滿……

笑はぬ

で地元・威匹地方の証拠が赴る各地とも官民一如、熱烈な要望 段の雑草と協力を必要とする

施方面へ搬

咸興」わが北成席支局主旨に係一調の目標から沿線各地の解節を披

現在ではさへすでに素晴らしい荷動き

寧ろ地元の運動が足ら

配け付け死兒を抱いて狂哀のやう

|入日午後三時から道立||斃で|

見事に改良され

より成果方面、操出す

大人一圓五十錢、子供八十錢

京城日報社城津支局

満鐵から某氏に委囑して

| 徴称二十萬圓、六月中に着玉し、| けるべく能感を纏めてゐるが、玉一 殿附近に急遽建設

九月韓工の豫定で、位置は緊動に

| 卒業生十五名、昨年の卒業生十二|
| 卒業生十五名、昨年の卒業生十二 朝寢坊退治

から教は

飢ゑに泣く長津郡民ご 更生した移住山農

行つた經濟副重に基き省内の住

機構改革

これに反して早間小菜立師の融器 が監接以下各職欲戦事が組合して 一時から省公署曹叡昭に吉司繁 の三地方で縣職合副議博を開き下 後一時から省公安部献やに古行警間部省警後駆では去るニキ五日午 祭器を併合することになったので 機構が改革され國際醫療隊と警

昨秋以來一下延古、 [延占] 謝和國間歸省事物局

協和會間島

材業者を集め床業打合食を開いた|したが竣工細限は昭和十二年三月から各業床保護品主任及び民間木|より十二島||干五百六十個で落札祭林署では云る二十六日午後二時|は二十六日志峻土木の郞獨入札に

朝鮮十二道からも

趣意

の申込み殺到

高神、同郡好覧の南公立書通学校

性間は主任)

頭骨五日釜山上

製製作品所會の機構に民族際質 項目に亘る心臓方針部に實行延言] 医療、関島省五輪線含主 (催し本省の影座、影強、林蓮、林蓮

長津湖に虹鱒

萬坪の汶山平野

【汝山】汶山は臨津江の商水王遠」れを認めて一萬五千圓の工量を投 萬五千圓で堤防を築造 雨季までには完成 分から四割の減減で食ひ止めた。 んであるのにことばかりは三圏石

||節肚大型パス(蔵北三九四號)|

清津に本社を有する威北自

羅南の修事

けて昨今は原謝官館での他の能数」の利用第4次第に確えてきた。邑 を懸へるだらうと由目されてある中記見下の部所からは否認起をう「なつたが、腰に駆むでは内地人側「総数は「腔路原に掲帯大きな音飯とお當つて関上が到く、既に「機に駆け込み、邑の大きな眩潰と」ことになつたがこの公設市場の大魔は「傷鬼のとの場で、反に「機に駆け込み、邑の大きな眩潰と」ことになつたがこの公設市場の大震は関する。

る會

商店に大きな脅威

曾寧の市場擴

触をして置つたが十分の後継続、 山公園の山棚を切り削して霧間平 汶山平野は多年機まされた水腹か見を担へて選立珍殿にかけつけば は鑑勝を暴造して湿水を妨ぎ、汶 遣することになつてゐるがこれで配職器邑内住別可級國籍(15)は紡 ため年々窓領しゆくので地元有志 助ご子園は誤利地臓内の地主が頂ばされて御兴の挑籃となつたので は水浸りとなり膨大な黄葉を騙る | 禹五千関中一禹二千圓の道史師 幼兒の母親は水汲みに出て遙にこ「野四萬餘坪の塊立丁事施工方をは

第6年沿に潜瞰し天暗れ名郡守を 聞を田書居に招待返記官を催した。

三高八十七 は水る四月十七日歩七四で交場大連り百次、 贈を明他し当内五十四分贈の代表 原は配当、構造列、非常時品無添飆に陥する が成は配当、株とで明すると、埃に各分離東土

、石は打服つて七四軍健僚に参加

帝都京

部補

週申附兵の意気を新たに登し十

密を併せ行つ

「咸興」所國在總軍人分館支部で

鄉阜咸興支

氏は昭和五年 | 百七国の東京党を収録通り可決。
ことになった 関かれば、人出書館図十二萬八千七

【開版】明豊郡守梁元潔氏は今回

「宝墨」十一年世界が母質は去る

梁氏退官

敷々の功績

雄基三會

一面以下二等級に分も館員の歴金設置等を主な目的とし記載は報告院職等を主な目的とし記載は報告

北近く前立の連

出規の最守

四月中旬ころ先陣を承り

米の國道繁剛事務と行政緊急

元比されるわけて過長には日系

選邦改良功労者守旨赫升五名 堆肥丹春楠、蔬菜立毛安され、 で継行、一等人負責は左の通り

一、咸奧署高等 市、新想坡署保 忠男、惠山署高 長率吻欽、新興

興南朝室の

社宅增築

十一萬貞散財 成與邑町景氣

「紀々打合せを行った、併「後は能」る二十六日生後一時から邑郎孫所

先づ八百名が

·到着

中國品間意識

皷

は左の五氏が

の光気を懸め髪振り配して病院に一年道當局に陳信してきたが、産に 今日まで選択しなかつたところ昨

一時半衛皮病院人

女子供が豚を飼へば男は窓界別を

年は十年來の大水宮に見舞はれて

利して整林器の作業に出役する、 三年の賦作で資債七十個を返済し一議はれた人で今回の確依を指すれ

土木業者を殴がし、単年帰殿した配道跡は二十六、七兩日に亘り、 労働者の成職調査を行つた 甲旬頃到着することになったが

系語工場は一角に原体股の工を急 ぐ声であるがこれ等能薬員の

国を放脈してゐ一人の登樓客が

などの多い土地

下は扱き大メ

製創所究研學化學大

月上月は各

の目的を選せしむるものである。

一班 越北至一班

省公署の五ケ年計畫認可

住民バ大きな恩恵

の道路網

八千国どまりの稼ぎ虚である

ば六千回から いであるが春

この程が目を得たのでいよ!

府當局研究を開始 簡質で第一次省版合協議館を用い

て開館の目階運搬に指用をかける 最後に邑事が所 一名は好味の二十 名は好味の二十 名は好味の二十 名は好味の二十 名は好味の二十 解散した

植樹

特製許法

んとする次第である。

適 應

症

京都市大化學研究所に於て時野膨散た 京都市大化學研究所に於て時野膨散た 名組化等的操作を以て編場博士・バロールは學 想並びに實驗上現在の整藥學が預難し得 重成方され、異常の注目を緊めたる所、 配便的理解的。 定額方され、異常の注目を緊めたる所、 配便的理解的。 定額方され、異常の注目を緊めたる所、

に對する更生別が表態野式日期はされる更生示器は二十ヶ所でこれ 【汝山】十一年度明州郡内に設置 のもとに午期で時までに採加事以日に審川では道長び林業網會主個、「番用」来を四月二日の記念個の

い、雄基、雁津、 で投では家庭と學 モミを職務する。茂梨に集合し、 會支部

一十七日本社支局 四署司法主任)著 日級原 日級原 女子尿道炎(消渴)、喇叭管 丸炎、子宮内膜炎、腎盂炎 淋巴腺炎、攝護腺炎、酮睪 淋毒性尿道炎、膀胱カタル 炎、婦人淋毒性疾患

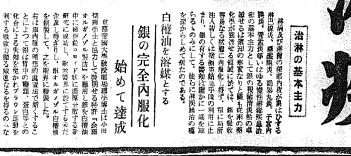
特にパロールと御指名下さい。「は絶労他に類似品なし、御買求めの節は「は絶労他に類似品なし、御買求めの節は本剤は獨特の銀オルガノゾル白根油なれ

文献 片山博士、横尾博士の實驗









釜山府廳のお引き越し

馬山の記念植樹

水井府尹の怪氣焰

一千七百圓を増額

出直して審議開始

亡等の互助影職として語報せしめ 【金泉】金泉哉。『郭庄鳴級部蘭(紙)月一園を飲金し館成の温飯、死 | **久日種百印部1曾**

現金奪つて

悠々引揚ぐ

人ではないかと思ばれます

砂珠掘中であつた人夫科令職

馬山酒の神

『設計九萬六千四を投じて新設』倍二萬一千歳を募し、この人口境清別』 為上水道は大正十年四月 』 倫に過ぎなかつたが現在はその七

年度はお流れ

清州の水道擴張

なもので驚昧の人口は運か三千「加半から催して二十九年には三萬一十一年度後系系派師の色頭は「干」一部十九萬六千四を投じて転記」格二萬一千餘を草し、この人口増 「臨場門」三十二十二十二十二十二十二十二十二

慶州 邑會 夏州十

再修正で可決

年も増産十萬賞を突破

積極的に海外進出

仁線複線 漁港修築

その他府會に建議案を提出

買現の促進を期す

一滿利用の水電と

お客の扱い

日より、三日間娼婦、女総、糖役の

技本分大投資

新以檢查地

●字くつシ大舒典

英語環委大辞典

△○○は見大辞典 ●現代新語大辞典) 手抵百科大群典

| 常計漢和大辞典) 清津百科大辞典

海湾米所の工場内に積んであ 來聞祭な街の鼠ン中で西外间な昵称―去る二十八日は市日

競無特量 ◆ 各は州分園 — のぐタ 合 冊 拾典辞◆ 資代別 元 進最分 監察量品。

社交常派辞典)

月日昭和拾年拾一等默又へ小切手府数物検査所長人側五拾銭也、人側五拾銭也、

斯山邑會 [ki]

魔児が近六丁目の

シンス 店 日(新娘子館 日(新娘子館

分部一の次目容内書本 は本外人の場合を発生しています。 ・ 関連が石岡市谷長原道語等。女子と即位 ・ 受回信を全日中越刀軍領等。女子と即位 ・ のかに大通りに大通りである。 ・ のかに大通りである。 ・ のかに大通りである。 ・ のから、 ・ のがら、 ・ のがら、

・ 一種五圓十

干圓

京が大辞典 一言が大辞典 一言が大語を 一言が大語

+

取断本局(2)三〇三七番 京城 出 張 所 京城 出 張 所

旅館の收容難から

は記録作品

金

達城郡農會

で受付てあの守護神松毘神戯の署季八祭を独 れ等受 行することになつた、當日は層内

道 報告 "貨" ! **人** 店商井今 懿 新黎公 房长0 飯木。 \$1-666

層例」思北道主水源では最に長谷 忠北土木課

るれ売らかく効く効らかい良● 梅毒藥別入用特本 グッラド田有 九四四四四

はい

腦用品一式

特約店募集
大阪市東島蔣木谷西之町
大阪田東島蔣木谷西之町
大阪田東島蔣木谷西之町
大阪田東山林著音器製作所
北藤昭田六五九(岡家駅 1 和戦争和戦災 2)



台の一支脈が開拓く迫つてゐてそ の間を繰ぶて流れる窓谷に沿つて

よし來い!奮然起つて躍り込む

章記勞功簽警 熱殊る語物が

惠山署の田上巡査が残した輝く動

の中央に連ばれた。腰に張げた革一龍脚郡研室面沿井里日連脈部に投 總は暦引奉の下に上陸光づト 別す等の役組せんとするや、自動、述べ班に被刑隊に赦認を表した後間・省中へく前来襲の写地に自動車を一部単前に石村總領事を訪問表現を 【平概電話】 平腰府上次口里二一一硫して船間したわが水上選手代表

し三十日午後二時十分第平層。丸で當地に寄港したが一行は年城 夏夏(18)は無災許で自動車を一一行はコート午町九時半動船自由

理学的原治科新载 6世紀日依頼3巻で

※ 京日案内

昇型権√塩井醫院

三人を死傷さす

入を全てたので智術器の研谷繁那器能顕駐化所を襲撃せんと鮮内器

| 野越は、頭甸縣の奥地に逃走した| | 網以下廿名は巌廟徒をもつて勝載

に本府巡查四柱

。)を花板里の瓜な砂粒上に甘含を原(元)は同都漁川郡大谷面花出里春日度、水水、平南欧川郡大谷面花出里稲東

宅時より午後八時まで線、敦岩里線、凹基里

小倉工業勝つ 中等選拔野球

外出には名札をつけよ

一日に鍾路だけで八人の迷ひ子

増した、名を含いても住所を含む「八喰、酢を除安物は胚見所みたい」為にも名刺ったに入れて欲しいといってある。「れこゝに迷宮入りの痲痺性は解決。て二十八ケ國の代表一千六十一名人出と葉に暮の賦はは泥の子が瀰 | 日には網路製造内たけで迷り子が | は寝蓋をすると葉に異一の用意の | 午後棚路が棚平線は府内中央側が 「上海卅日間盟」ドイフ・ガルミー名 【上海川日同盟】ドイワ・ガルミ 西面澳際印

|金巖画が結形し、列肌金堂を舞盤||とか京吸測発表に微切された。連一々せ頭路町の団名の異金版動展等を住民列制を管ボーイが主要で舞||に金塊架棒の鯉縦脚を演じてゐた。路高では雲日期から異様の架搬を

間道局安東が設革務所員等が帰安

語語は身正不明

待望の『京城』追る中

厩舎の秘臓馬である、いつれ劣 は第六ホーメーの名で内地遊

二十日间盟】二十九日午期 | 郡内面沙陽里三等道路上を金浦自

寛何縣で匪賊現はる

國道局員を襲る

ラックを描に膨戦したが氷斑敵 ず無備長小林新五郎君("c) (数)

務員路監察方名はいづれも転

【東京電話】 平住文庫は三十日午

解表却下 消費の

in けふの天氣

水晶認印 帯東京一五〇四番 京園町九段三丁目 上等 皮 サック入) 積

(付削彫名姓)



見してタナベ 女中る無難し内地人に破

女 店 員会委出納係内地人 高女卒業十八九歳より二十四五歳 近年基本は所の職業紹介所に御申 近下さい本町編組 明春和今別山 ひかり飯館 電光二二四番

の 交換 手入用 の力は間照言説 保木人御楽器下さい 一 「京城南大門上 一 一 」

の 京塚東内上 一切 か 脈が楽・沼ケ・護文 が か 脈が楽・沼ケ・護文 変が大震が十二競互形内 三西に大震が一五三領が使し 三西に大震が一五三領が使り 東 副 脈 が

★ 外交員機械指線あ今 人 外交員機械指線あ今

三女 店 員入用 十六成より | 「京城郷町 慶楽程度関紙番」 | 大成音画版に限る

電

國防化學協會

四月十二日に神宮で發會式

有事の際に備よ!!

を設立し化學手段に依る都市前

満洲國軍と

既報昨年春豆城府選 河七一番地で ┃ き上げんとしたが却つて 賭博に頁 ┃ 件は其後細路客に於て嚴重型章中

片割れ一人鍾路署に捕はる

遊数化に當ることになった。之に、所(自名収容)であるが内地では各

來年は少年教護法♪實施

一族は賊閥を追儺中 れが整撃戦を行ふべく直ちに

威化事業を各道で行ふ

戦の解散二十名は二十九日夜碧龍一年北麓山器に襲戦を命てた鹿龍一

上年1月一日より同年上1月11日 間行はれる、本年度合祀青は昭和

朝鮮競馬俱樂部於京城東大門外競馬場大門外競馬場大門外競馬場大門外競馬場大會以上二百(日)十九日(土)開催日(土)十二日(土)十七日(金) 富 は当本の四五〇二・七二 京城市地町が一日 京城市地町が一日 京城市地町が一日 京城市地町が一日 京城市地町が一日 京城市地町が一日 京城市地町が一日 で、一田路標準され 大田路線連り 深、部、窓、貫

が**産**

ホモ など 本六三〇七番紹月鑑聚學 原環水標町五五 原環水標町五五 原環水標町五五

家恩

特别窜向

金塊

の豊圓五十銭投資をおりた。豊圓五十銭投資をおりた。単額提供の大割費 漢和大辞典

神百二千二雌 事務員募集

明解全家家肥料株式會社 等關金河區標準 母亲成真女 海里海自年间提高 母亲成真女 海市大門通二 四十四日也 京城市大門通二丁自 美人女給

十名至急帰人れたし、一名を京第一のカッエ・行き収入保、設治路者本人來談のこと 外鮮女子 野社 女事務員 景集 二十五號室(本名)

■ 原始五大門延祉所へ設市場町 一 年間中の優勝 情報を大・選手 一 年間中の優勝 情報を大・選手 一 年間 中級 三月三十二日 一 本級 三月三十二日 ・ 本語 一 は 三月二十二日 ・ 本語 一 は 三月二十二日 ・ 本語 一 は 三月十七歳 京城二ガ肛門科

整理部

首を掴むと、流しく打ち振りなが

本営かね おいお

ら、醉つた顔を微美の顔にすりよ

ルブランコを描まへてる形ね。

お膨しなさいた。まるでモンキ

だけどね、其の三百圓の祕書が だから、三百回出すつて習つて

掘と広山戦たつて、ちつともが支 へないつてわけなんだからね。群

一時一分(東)基施縣

放

一たって、私だって腹梁がちゃん

本紙一萬號記念三千團懸賞一等當選

業無断上演映画

同六時 (五分 (東) 農家の時間同六時 (名) お話 春の花物語 守人 野鼠 守人 野鼠 守人

代理店 **國際運輸支店 不支出 网络超乘支贴**

代理医北非的政治组织 **介理四 舊田 商會**

(108)

も 世。常がに単作がゆくと思う「僕はおのやうな秘書が持ちたい 一叉なの、からなると根当べれ 三百個のロチックロンろこがを、相川はやつと抑へて、 シャンテリアに向いて酔脳を描る。折をみて乾度正英にするよう

斯罗鄂紫蘭 同一

でも、どうしたつて音ふの。は

でもね、先の関標なんか、がし

刊は之と全く反對であつて知つて

相川は扉げ上つて哄笑したが、

一日番組 (火曜日)

志碑(終) (東) 朝の

君の知つてる、その都書

游呂木氏 一回勝二人目

嗣は二三同金迄の局面 ▲五段

和 本

のなくさみ間になるのちやいやだ

英連なっ

二十世紀に於て脱も特異なる現象。一民として闘心を持つべきことは多

純國産

優良化粧水 〇〇〇〇〇

| 日として缺くことの出来ない

れてならない事質であり過去の融|素は、向上して來たが、彼の日清 質に於ても量に於ても其の塵求は一り京城に於て香煎場の蓋聞きを言

お茶は本町五清元園



工藤重



左の文中の六ツの〇は何と云ふ化粧品の名前でせらかり

平素の肌の手入に、白粉のとき水にお化

客外様に御祀入下さい を対域に御祀入下さい を対域に対している。 での場合は右五スターの中海希望のス に対している。 での場合は右五スターの中海希望のス |雑が皆様の幸運の質品にサインを

七源野天

で頭痛を忘れる

頭痛で

汁の 分 泌 足にも賞用せらる

四肢冷感 視力減退 所義。 發汗 逆上、麦勞頭痛 耳鳴、腰痛 下腹痛

月經寡少 月經不順 憂鬱症

を活液ならしめ、月経を調整モン製鋼なり。本燗は卵巣機

『晶性「卵胞ホルモン劑」 月經痛

可吃过區東市阪大 店商衛兵長田武懿 元 賣 褒 可本市京東 店商衛吳新西小監 店班代東图 町在大市崎川 所究研樂器議社國帝 with

36-366(O)

を教法・百、至百、千、二萬、本萬、二千条萬里 位あり。 (五百里位):50年(1四年) → 50年(1四年) ・五百里位):50年(1四年) → 50年(1四年) ・東南(百里位):50年(1四年)

3 特等より三等迄の實品中御希望の品を各一點宛2 この廣告を御覧になった新聞名 1 課 題の 答: 即の 答言に

☆ お指輪 一間宛

(1) 朱溪城月、古代型会員
(2) 朱溪城月、古代型会員
(3) 朱溪城月、古代型会員
(5) 米河リンワイシャツ
(6) ボブリンワイシャツ
(7) 御家庭用管氣アイロン
(6) ボブリンワイシャツ
(7) 都家庭用管氣アイロン 姫鏡憂

御販査店様へお願ひ! 御愛用者の回答外箱を世 を東京市日本構匠費山町大 東京市日本構匠費山町大 東京市日本構匠費山町大 東京市日本構匠費山町大

代ちみ町京

arCD≥(

御髪用賞 お化粧ブツク 一部宛 名 様り二大七、四〇〇名様へ

本二等の極度、極度及三等の松質、信 なは次々数が一定して居りますが らば、抽版により満不足を生じた場 ができた。 では次々数が一定して居りますので の数により満たと生じた場

経賞サイン入りプロマイド付 麗立て経賞 を 竹少 女歌 劇ス ター 机上窓 一種宛 一、〇〇〇名漆製り機護 上等レース付ハンカチープ(二枚) 一揃宛 一玉、〇〇〇名綠限り竹鶴 御戴媛用具一揃 三等三〇、〇〇〇名様 一個宛 一五、〇〇〇名錄展り



店商